

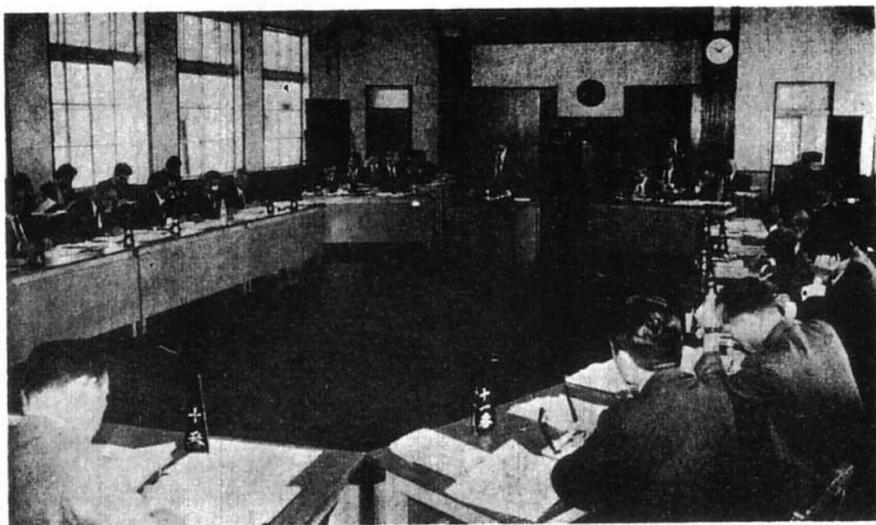
東由利村報

発行 秋田県東由利村役場
 印刷 昭和47年10月1日発行
 刷 印
 本間印刷所

総数	6,982
男女	3,420
世帯数	3,562
人口	1,553

第5回議会 七議員が一般質問 全案件原案とあり可決

九月二十日、役場に招集された第五回村議会定例会は、七議員による一般質問が行なわれたあと、任期満了に伴う村教育委員会委員の選挙などを含む九案件を原案とあり可決、村選挙管理委員会委員の選挙を行なうことについて閉会しました。



【写真】議会風景

一般質問を行なった七議員と主な質問事項は次のとおり
 ▼藤原虎之助議員①求人開拓と出かせぎ対策②村簡易水道事業(給水前の検査、故障修理の責任所在など)③台山グラウンドのトイレ設置▼長谷山喜市郎議員①スポーツ振興と休協設置②公民館(開発センター)建設③村簡易水道事業(各戸給水・道路修復等)
 ▼小野昭一議員①簡易水道の全村普及②集落内道路の改良促進▼田代寿治議員①本荘市との合併推進▼阿部幸悦議員①消防非常備分団の機構改革②公民館建設と専任館長人選▼長谷山二郎議員①運動広場(台山・旧両中学校グラウンド)

「相互激励を……」出かせぎは種々の要素を持っており、他市町村と比較し必ずしも後手であるとは思えない。出かせぎ対策要綱案を作成し村が取り組む基本姿勢を明らかにしている。求人・職場開拓は全郡全県の視野で行なわれるべきである。子弟の教育を含め、玉来小学校を訪れると、燃えるようなサルビアや大輪のダリア・カンナや葉ゲイトウなど色とりどりの花に埋め込まれた花壇に歩を止めさせられる。この花壇は校舎の美化と子供たちの情操教育を目的に、PTAと学校が一体となり、夏休み中も交替で灌水するなど心をこめて育て上げたものである。花壇の中央には小さな池もあり数区錦鯉が泳いでいるほか、かたわらにはマキを背負った少年時代の二宮尊徳像などもあり、子供たちの心を和ませ、大きな夢をも与えています。また自然観察園として理科の生きた教材になり一石二鳥の効果を上げています。植栽された花が最盛期を迎えたこのほど、コンクリート主権側の審査をうけました。子供たちは、自分たちの手で一生懸命に育てたものがそれぞれに美しい花をつけています。熱心な子供たちやPTAのお母さんたちのためにもぜひ審査結果の朗報がもたらされて欲しいものです。【写真】手入れに励む部員 久八郎(日照坂)

赤い羽根募金に協力を
 十月一日から「赤い羽」共同募金が始まりました。この運動で集まった浄財は恵まれない人々の援護や社会施設に活用されます。皆さんが協力しましょう。

た留守家族対策は相互激励・共同連帯意識の高揚をはかる方向で指導したい。出かせぎ専門職員の配置は現体制では無理。
 【村簡易水道事業】事業進捗状況は第一水源取水施設および第一・第二配水池は一部を残しほぼ完成、第二水源取水施設八〇割、配管延長三七・三キロメートル。局所的に破損箇所があるが設計通りの施行でもこうした故障があるか調査検討中である。各戸給水は問題ないよう実施して行きたい。道路の復元等設計外の分は村が行なうべきで、全体をみて考慮したい。現在通水試験中で一部は今秋からでも給水可能になる。完成は来年度事業費の決済も来年度十月頃になる見込み。
 【台山グラウンドのトイレ】一度つくりは簡単に変更するわけに行かない便所だけに、建設場所や設置数など諸般の事情を考慮、清潔な公衆便所という考えで検討中、本年度中に実現する。
 【体協組織】検討する。
 【公民館(開発センター)】山村開発センターの建設を目標として問題に取り組むたい。

来年度の国の予算をみて最終結論を出したい。国の第二次山振事業の開始により早期に実現できなかったれば、単独公民館建設に切りかえたい。
 【公民館長人選】できるだけ早い機会に適任者を選任するため、努力をする。
 【全村的簡易水道】既設簡易水道を全村的規模で運営することは実状を勘案しながら検討したい。大吹川法内地区の水源調査は本年十月からでも実施する。応益事業の水道はそれなりの費用負担があることも考えておいて欲しい。
 【建設事業】設計以前に関係者とよく話合ってから行なうようにする。完成検査等は「工事施行細則」的なものを定めるよう部内で検討したい。集落内道路整備は必要であるが、補助金や有利な制度の適用をうけるものでなければ無理。辺地・過疎・広域・特等制度に該当する条件の根幹道路から優先し整備を進めたい。「本荘市との合併」広域市町村間事業発足時すでに検討したが、すべからず合併ということには問題もある。住民サイドで社会諸情勢の進展に合わせて問題に取り組むたい。

六割が建設関係費 消防団機構改革四月に

【消防団機構改革】十月一日に、改革に関する諮問機関を発足させ、広域常備消防の能力を検討しつつ、明年四月には実施したい。

【運動広場の整備】台山グラウンドは、現状のままで第四種公認には該当なると思う。体育指導員などの協力を得てよく検討してみたい。本部前の排水溝は来年度予算で実施したい。旧両中グラウンドは利用対象がつかめない、地域住民と呼吸のあった利用方法を検討してみたい。部落運動広場は敷地等もありよく相談したい。

【八塩ダム用地】用地の帰属は調査の上、必要なら解答したい。なお議決された主な内容は次のとおり。
 ▼村一般会計補正予算 歳入歳出予算のそれぞれに三二、八六千円を追加、予算総額を四四八、五七千円としたもの。
 ▼歳出の主なものは、議会議員報酬手当一、〇八七千円・簡易水道特別会計繰出金二、一九千円・山振事業実施計画委託料ほか一、一九八千円・林業振興費補助金一、八八千円・道路維持原材費四九千円・茂沢線ほか道路工事請負費二、三三〇千円・向田橋ほか工事請負費二、八七〇千円・常備消防分署連絡道

【出かせぎ対策】出かせぎは種々の要素を持っており、他市町村と比較し必ずしも後手であるとは思えない。出かせぎ対策要綱案を作成し村が取り組む基本姿勢を明らかにしている。求人・職場開拓は全郡全県の視野で行なわれるべきである。子弟の教育を含め、玉来小学校を訪れると、燃えるようなサルビアや大輪のダリア・カンナや葉ゲイトウなど色とりどりの花に埋め込まれた花壇に歩を止めさせられる。この花壇は校舎の美化と子供たちの情操教育を目的に、PTAと学校が一体となり、夏休み中も交替で灌水するなど心をこめて育て上げたものである。花壇の中央には小さな池もあり数区錦鯉が泳いでいるほか、かたわらにはマキを背負った少年時代の二宮尊徳像などもあり、子供たちの心を和ませ、大きな夢をも与えています。また自然観察園として理科の生きた教材になり一石二鳥の効果を上げています。植栽された花が最盛期を迎えたこのほど、コンクリート主権側の審査をうけました。子供たちは、自分たちの手で一生懸命に育てたものがそれぞれに美しい花をつけています。熱心な子供たちやPTAのお母さんたちのためにもぜひ審査結果の朗報がもたらされて欲しいものです。【写真】手入れに励む部員 久八郎(日照坂)

【公民館(開発センター)】山村開発センターの建設を目標として問題に取り組むたい。

【体協組織】検討する。
 【公民館長人選】できるだけ早い機会に適任者を選任するため、努力をする。
 【全村的簡易水道】既設簡易水道を全村的規模で運営することは実状を勘案しながら検討したい。大吹川法内地区の水源調査は本年十月からでも実施する。応益事業の水道はそれなりの費用負担があることも考えておいて欲しい。
 【建設事業】設計以前に関係者とよく話合ってから行なうようにする。完成検査等は「工事施行細則」的なものを定めるよう部内で検討したい。集落内道路整備は必要であるが、補助金や有利な制度の適用をうけるものでなければ無理。辺地・過疎・広域・特等制度に該当する条件の根幹道路から優先し整備を進めたい。「本荘市との合併」広域市町村間事業発足時すでに検討したが、すべからず合併ということには問題もある。住民サイドで社会諸情勢の進展に合わせて問題に取り組むたい。

【補正予算】小松慶治郎70歳(高戸屋) 山山貞一郎62歳(舟打場) 山山与三郎47歳(地下の沢) 伊東知也49歳(蔵)



【写真】新沢組合のクリ

主産地化目ざす 村クリ生産組合

このほど、村クリ生産組合

【佐藤治三郎組合長、組合員六四人】は、クリ植栽地の品評会を行ない、七年生以上の部で新沢生産組合、四年〜六年生の部及び三年生以下の部で智者鶴生産組合がそれぞれ一位となりました。

クリの主産地化をめざす秋田県は、面積で三、〇〇〇ヘクタールで、六、〇〇〇トンは必要と見られる。村内に多く見られる荒廃草地はクリ植栽で活用すべきでないか……と提案し、主産地化をめざすために少しでも面積を拡大したいとしています。

【委員】小笠原武一73歳(土場沢) 工藤武雄57歳(山崎) 遠藤庄二郎56歳(小倉) 山

【写真】手入れに励む部員 久八郎(日照坂)

平瀬への誓い新たに

村戦没者追悼式

日露戦争から太平洋戦争終結までの間に、尊い犠牲となつた本村の三百十一柱の英霊を偲び、恒久平和に新たな決意を誓う、村戦没者追悼式は八月二十五日・本荘高校下郷分校体育館に百五人の遺族が参列しめやかに執り行なわれ、村長・村議会議長・遺族代表からの追悼の言葉では、諸英霊の在りし日が偲ばれ、今日ある平和



【写真】新沢組合のクリ

と繁栄が、その尊い犠牲によって培ちかわれていくことがのべられました。また、戦没者の妻を代表して中西トシさんが、夫なき後の苦闘の半生、それを乗り越えて現在を平和な生活を送っていることを霊前に報告、夫や子供を、思わしい戦争の犠牲にした参列遺族の新たな涙をさそいました。美しい色とりどりの生花で飾られた横上の追悼の標に献花する遺族たちの目にも、時

折りキリと光るものがあり、空しい戦争の傷跡が、現在なお、遺族の心をうずかせ、還ることのない肉親への追慕が例えようもなく大きいことを思わせていました。思わせた後、一輪ずつの生花に手にとり、両端に刻みこまれた「犠牲となつた肉親」の名前を捜す遺族たちの顔にも、二度と繰り返してはならない戦争と平和への決意がしのばれるよう

【公民館長人選】できるだけ早い機会に適任者を選任するため、努力をする。
 【全村的簡易水道】既設簡易水道を全村的規模で運営することは実状を勘案しながら検討したい。大吹川法内地区の水源調査は本年十月からでも実施する。応益事業の水道はそれなりの費用負担があることも考えておいて欲しい。
 【建設事業】設計以前に関係者とよく話合ってから行なうようにする。完成検査等は「工事施行細則」的なものを定めるよう部内で検討したい。集落内道路整備は必要であるが、補助金や有利な制度の適用をうけるものでなければ無理。辺地・過疎・広域・特等制度に該当する条件の根幹道路から優先し整備を進めたい。「本荘市との合併」広域市町村間事業発足時すでに検討したが、すべからず合併ということには問題もある。住民サイドで社会諸情勢の進展に合わせて問題に取り組むたい。

【補正予算】小松慶治郎70歳(高戸屋) 山山貞一郎62歳(舟打場) 山山与三郎47歳(地下の沢) 伊東知也49歳(蔵)

【写真】手入れに励む部員 久八郎(日照坂)

火事・救急 119番へ

10月2日から、広域常備消防東由利分署の電話番号が開通、火災・救急専用電話として119番が使用されます。なお、一般事務用・連絡用電話は別に設置される予定です。また、これまで同番号を使用していた佐藤菊蔵さん(新町)宅の電話番号は、432番に変更されました。

【職員異動】欠員補充による県教育委員会の人事異動がこのほど発表され、老方小学校阿部繁美教

【二業種に最低賃金制】労働賃金の最低額を保障し労働者の生活安定と良質労働力の確保を目的とした最低賃金(一日当たり)が秋田県内の次の業種に適用されることになり、適用業種で働く人たちの賃金はこれを下まわることとなります。▼卸売小売業本年十月一日から九六〇円(明年三月一日以降九八〇円)▼自動車整備業および販売業、明年一月一日から九八〇円。

「PTA活動」を研究 父母の自主運営が必要

九月十日、東由利中学校を会場に本荘市由利郡の各町村から約三二〇名のPTA関係者が集い、第二十二回本荘市由利郡PTA研究会が開催されました。



教育を通して子供たちの幸せを求め、人間形成に関心を寄せる父母と教師が「教育とPTAのあり方」に、あらゆる角度から検討を加え、研究し合うため、早朝から会場に集まり、校舎前にとりくみ、と並んだ自家用車は百三十台にものぼりました。他市町村から会場を訪れた関係者は、まず充実した施設と恵まれた教育環境を礼讃、

「子供たちを取りまく環境(父母中心の家庭環境、教師や学校中心の教育環境)の良否こそ、健全な成長のために必要何よりの糧であること、面にあたりに見た」という声も聞かれました。研究会の内容は、開会式に引き続きオリエンテーションが行われたあと、「PTA活動の問題点とその対策」、「学級・学年PTAの内容はどうか」、「自主運営をめざす運営と活動は」、「地域PTA活動は」、「青年前期指導のPTA活動は」、「など五つのテーマについて七分会にわかれ討議を行ないました。各分会では更に数グループ

□子供の教育□

すぐれた環境が糧

参加者のほとんどが初対面同志でありながらも、子供の教育という共通問題だけに、言葉交わらず、積極的に発言し、掲げられたテーマに意欲的に取り組んでいる姿は、問題意識を持ち寄ったPTAの集会ならではの印象をうけました。

子供の教育とPTA活動、そのあり方は、随所で種々の議論をかもししています。

「いじいの森」造成

黒淵地区老ク・福寿会

黒淵地区老人クラブ福寿会(長谷山久一会長 会員六三名)は、会員たちで力を合せて「老人憩いの森」を造成しようとして、村最高峰八塩山(七三三)のふもとを数日かかりで整備しました。

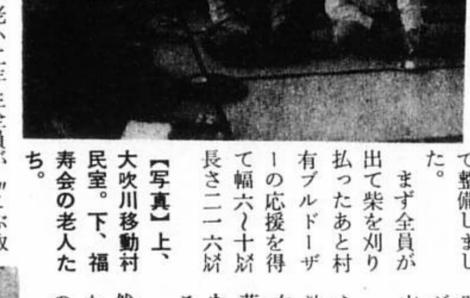
この場所は、村簡易水道ボツメキ水源地の手前左手に当たり、既設林道から標高三二〇の高低い山頂までの区間で、整地した峰伝いに赤松が五・六本並び、雄大な八塩山が直前にそびえています。眼下には、青々と水をたたえた水深十数尺の泡ノ淵ため池、村簡易水道第一配水池の白い建物、笹沢や村中心部集落、郡境越しに羽後町の住家などがパノラマのように広がります。

この場所は、村簡易水道ボツメキ水源地の手前左手に当たり、既設林道から標高三二〇の高低い山頂までの区間で、整地した峰伝いに赤松が五・六本並び、雄大な八塩山が直前にそびえています。眼下には、青々と水をたたえた水深十数尺の泡ノ淵ため池、村簡易水道第一配水池の白い建物、笹沢や村中心部集落、郡境越しに羽後町の住家などがパノラマのように広がります。

村民とともに歩む村政 大吹川移動村民室で確認

八月二十日、大吹川部落会館で開催された移動村民室は、大吹川・須郷両部落から二十数名の部落民が参加した。村長は、それらの一つ一つの責任ある立場で答弁を行ない、住民の要望はできるだけ吸い上げようとする積極姿勢を示した。

意見交換は尻上りに活発となり、閉会予定時刻を三十分以上もオーバーする熱の入りの会となった。村長は、それらの一つ一つの責任ある立場で答弁を行ない、住民の要望はできるだけ吸い上げようとする積極姿勢を示した。



【写真】上、大吹川移動村民室。下、福寿会の老人たち。黒小二年生全員が「こぶ取りいさん」の歌劇を演じてお祝い、孫や曾孫のかわいらしい熱演に目を細め、手をたたいて喜ぶ老人たちの笑顔は、どれも底ぬけに明るく幸せがいっぱいに感じられました。

【防犯連絡所】小野次郎(上里)・佐藤広男(寺田)・遠藤兵一(小倉)阿部次郎(野田)・阿部千代蔵(十二前)・小笠原清一郎(祝沢)・長沢毅(中通)・大塚菊治郎(板戸)・小松与惣雄(松沢)・高橋忠一郎(玉新田)・渡辺隆蔵(田代)・佐藤順治(高戸屋)・小松正之助(向田)・川尻幾郎(黒淵)・小野喜代蔵(宿)・小野松雄(蔵新田)・大庭時雄(舟木)・高橋末治郎(須郷)・鈴木茂(沼)・石綿

お年寄りに感謝 孫も「長生きしてネ……」

七〇歳以上の老人に感謝の気持ちを捧げ、健康で幸せな余生を送ってもらうことを目的にした村敬老会は、九月七日の玉米地区(会場同小学校)を皮切りに七地区で、小学校や会館を会場に婦人会が主体となって開催老人たちは楽しい一日を過ごしました。

八十歳を迎えた十人には肖像写真の掲額が贈られました。また県知事からも、八十歳以上の六五人に対して敬老祝金(各千円)が贈られ、長寿をお祝いされました。

各地区会場とも、列席した村議会議員や小学校長など来賓から、社会に貢献して来た老人たちの偉業が讃えられ、「今後も明るく豊かな社会づくりのために健康で長生きされたい」と激励されました。

このあと、婦人会員たちが心をこめて作った料理と接待で、過ぎし日の思い出を語りながら近況を交換し合うなど、やかな風景が見られました。

敬老会が荒天となった時などは家族の誰かが送迎する暖かい思いやりの欲しいことも感じさせられました。

慶弔だより

8月26日〜9月25日
○誕生おめでとう
遠藤弘幸 小倉 健蔵 長男
○結婚おしあわせに
小松 義嗣(嗣) 久保 大場 真子(嗣) 久保
○死亡お悔み申し上げます
長谷山マツヨ時雨山57歳
大庭喜代次 舟木 64歳

この敬老会では村から招待を受けた津部落の佐藤長蔵・ウシさんご夫婦など十一組の金婚式も一緒に行なわれ、村長から褒状と記念品が贈られたほか、今年

金が贈られ、長寿をお祝いされました。各地区会場とも、列席した村議会議員や小学校長など来賓から、社会に貢献して来た老人たちの偉業が讃えられ、「今後も明るく豊かな社会づくりのために健康で長生きされたい」と激励されました。

このあと、婦人会員たちが心をこめて作った料理と接待で、過ぎし日の思い出を語りながら近況を交換し合うなど、やかな風景が見られました。

敬老会が荒天となった時などは家族の誰かが送迎する暖かい思いやりの欲しいことも感じさせられました。

【防犯連絡所】小野次郎(上里)・佐藤広男(寺田)・遠藤兵一(小倉)阿部次郎(野田)・阿部千代蔵(十二前)・小笠原清一郎(祝沢)・長沢毅(中通)・大塚菊治郎(板戸)・小松与惣雄(松沢)・高橋忠一郎(玉新田)・渡辺隆蔵(田代)・佐藤順治(高戸屋)・小松正之助(向田)・川尻幾郎(黒淵)・小野喜代蔵(宿)・小野松雄(蔵新田)・大庭時雄(舟木)・高橋末治郎(須郷)・鈴木茂(沼)・石綿

10月自動車税納期
今月は自動車税第二期分の納期です。十月三十一日の納期限まで最寄りの郵便局か信用金庫で納入してください。なお、納税告知書は十月中旬までに直接納税義務者に郵送される予定です。

黒小二年生全員が「こぶ取りいさん」の歌劇を演じてお祝い、孫や曾孫のかわいらしい熱演に目を細め、手をたたいて喜ぶ老人たちの笑顔は、どれも底ぬけに明るく幸せがいっぱいに感じられました。

東由利村報

No.185の②

発行
秋田県東由利村役場
昭和47年10月1日発行
印刷
KK本間印刷所

総数	6,982
村の人口	3,420
男	3,562
女	1,553
世帯数	

青年議会議会 本番さながらに 十数項目を質す

宿分館

村公民館宿分館では九月六日、宿小学校を会場に青年模範議会議を開催、青年会・ボラントリーア・若妻会などから選出された女性三人を含む一八人の議員が、村長を筆頭に、助役・各課長など村執行部に對して本番さながらの鋭い質問や意見を開陳、青年たちの村政に対する強い関心と情熱を示しました。

またなければならぬ課題に對する青年たちの質問や村長の答弁にいちいちうなづきながら聞き入っており、意義ある模範議会議となりました。

行政上の村の基本姿勢を質し、村政の理解を深めることを目的にした好企画でありながら、張り切る議員を除いては傍聴者も数名というさびしい状態であっただけに、主催側では「言いつばなし、聞きつばなしにさせないために内容を地域住民に知らせたい」とも語っています。

質問のトップに立った梅津嘉人君は「生涯教育を進め、芸術文化活動を充実させる意味から社会教育機関を設置、

要望中である……」と答え、村長は、「質問のすべては的を射ている。公民館は建設する以上立派なものを……と考

社会教育の場 公民館建設を

公民館を建設する考えはなにか……と質したのに対し、佐々木公民館長が「各学区単位に分館制を敷き、地区の自主活動を……」と答へ、現体制で社会教育問題に十分対応できるか否かについて関係機関とともに行政面でも検討したい……と答弁するなど、質問のすべてに對

して本議会と全く変わらない熱心な答弁に終始しました。このほか、社会教育の場という見地で地域会館を青年会等が無料で使用できるような行政指導ができないか、出かせぎの弊害ははかり知れない。出かせぎしなくてもよいような行政をやれ、青少年の健全育成という立

農作業事故防止を

農繁期に多い農業機械による事故を未然に防止するため次のことに注意しましょう。
①機械は作業（使用）開始前に必ず点検、安全を確かめる。
②収穫物の運搬は積荷過剰にならないようにする。
③過労時の機械運転は慎しみ十分な睡眠と休養をとる。
④安全な服装に努める。

三部門の優勝独占

第10回全郡市町村対抗陸上競技大会

九月十日、象潟中学校競技場で開催された第10回本荘由利市町村対抗陸上競技大会（本荘市由利郡陸上競技協会・同学校体育連盟主催）一般の部で、本村陸協チームは全部市から参加した約二五〇名の選手と競い合い、九種目に第一位となるなど出場全種目に抜群の好成績を納め、男子・女子・総合三部門の優勝を独占しました。

伊東・阿部さん 全国大会で健闘



【写真】左、阿部幸子さん
右、伊東千鶴子さん

八月二十五日から三日間、東京国立競技場で開催された、全国定時制・通信教育高校生陸上競技大会に本荘高校を代表し、県内各校選抜五十人の選手とともに参加した下郷分校の伊東千鶴子・阿部幸

が裏づけられたとしても、しかし一方では「技術の不完全さと練習不足が見られるので適切なコーチをうけトレニングに励むことが課題」と、きびしく反省もしています。

打算を捨て、スポーツに青春の血を燃やす若者たちへ、その能力を助長させるため周囲の暖い援助の手が、もっともっとさしのべられて欲しいものです。

宿小チームも大活躍

また同会場で実施された小中学校記録会に出場した宿小チームも各種目に健闘、好成績をおさめました。成績等は次のとおり。
▼六年女子一〇〇級走 一位 佐々木聖子14秒9 ▼同女子走幅跳 一位同人 3級99。

巡回行政相談日開設

行政管理庁では、十月十五日から二十一日までを「行政相談週間」に定め、期間中、役所の仕事（例えば年金・道路・生活保護など）で困っていることや納得のいかないことなどについて相談をうける「巡回行政相談日」を設けており、本村では次により開設されることになっています。この相談は無料で秘密が守られ迅速に処理されます。
▼日時十月十七日午前十時から午後二時▼場所東由利村役場▼相談員阿部寅静氏ほか。

やったぞ「生寿会」

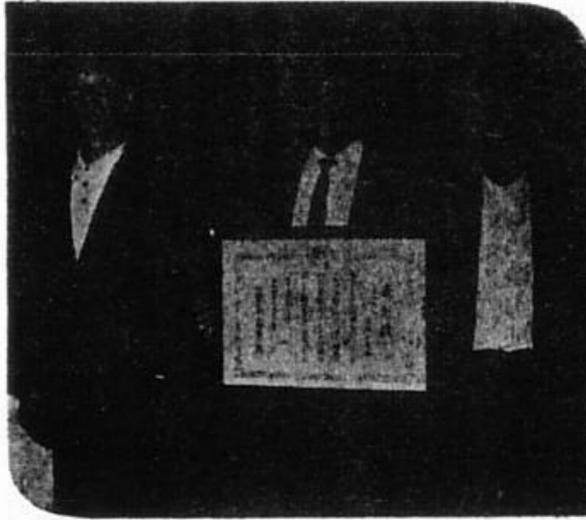
「敬老の日」に知事表彰

全会員に参加意識をもたせようという運営で、老人を孤独に陥入らせないよう自分たちで工夫しながら楽しい活動を続けて来た法内地区老人クラブ生寿会（阿部祐次郎会長、会員七一人）は「敬老の日」の九月十日、県民会館で行なわれた県の敬老式典で全県十四老人クラブとともに小畑知事から晴れの表彰をうけました。

会員たちはこの喜びをみんなに分ち合おうと、九月十八日小倉児童館に集合、村長や関係上部機関の来賓を迎え、三味線や太鼓に自慢のものを鳴らして楽しい一日を過ごしました。

この日は地域の母さんたちもお祝いをかねて料理や接待を応援、老人と仲睦まじく語り合う姿にはほのぼのとした暖さが感じられました。

阿部会長は「表彰を機会にクラブの内容をより一層充実したい。そのためには会員一人一人が進んで参加知恵を出し合うことです」と決意をこめてあさつ、大きな拍手をうけていました。



阿部会長は「表彰を機会にクラブの内容をより一層充実したい。そのためには会員一人一人が進んで参加知恵を出し合うことです」と決意をこめてあさつ、大きな拍手をうけていました。

ホームバレーで健康づくり

〇〇 蔵 部 落 〇〇

蔵部落は、部落民の健康づくりと親睦を深めることを目的に、三年前から各丁内対抗家庭バレーボール大会を実施しており、このほど第三回大会を永慶保育園前広場で実施しました。

各チームとも、年齢・性別など制限がないだけに、六十才以上のおばあさんも

いれば中学生もいるといの幅広い選手層で、珍プレーも続出、自丁内チームの応援にかけつけた老若男女を喜ばせました。

この大会には、村長杯・部落長杯がかかっており、応援者たちも枝豆をかじりながら選手と一体となって和気あいあいの笑いの中で、楽しい初秋の一日を過ごしました。

優勝杯は下横丁チームが手に納め本年度の大会を終りました。

青年の船海外研修報告 青年の船海外研修報告 青年の船海外研修報告

立県百年を記念して八月十四日から二週間にわたって実施された秋田県海外青年研修（訪ソ）事業は、県内から百五十人の青年が参加、教々の成果をおさめて終了しましたが、本村から参加した佐々木・工藤両君から次のような報告が寄せられたので紹介してみます

二週間という短期間ではあるが私達団員は「若者の連帯」「ユーラシアの友情」「あすの私」という三つの基本テーマで訪ソした。

かつては鉄のカーテンに閉ざされた広大なレーニン国であったが

今日では、観光の門戸を開き多数の外人客を呼んでいる。多くの観光客の中に日本人の姿を見ることが何の不思議にも感じられない。

二週間で世界一広い国のすべてを見、知り尽くすことはもちろん無理であるが、初めて訪ソ「青年の船」に参加して

訪ソ「青年の船」に参加して

佐々木 伯 漢



訪ソ「青年の船」に参加して

佐々木 伯 漢

の海外旅行自体が貴重な体験であった。

イデオロギーやイズムの違いを別にしても、日本人として見習うべき点の多いことを学びとった。

ソビエト青年たちとの交流で感じたことは、平和を望み郷土愛に燃えながら、国家建設の目標に向って努力を続けているというところであった。

また、車が少ないのに、立体的な道路が完成しており、私達が乗った大型バスが十字路で急にUターンできるほどで、公共施設のすばらしさには目を見はるものがあります。

反面、彼らの服装は質素で町を走る車も、日本で見られるようなきれいな国というものでした。

モスクワは日中気温が三六度を越す毎日でしたがシベリア班員の話では、朝夕セーターを着込んだということ

日本は、芝生をはじめ花、草木に毎日灌水しているとのこと、至るところでその姿が目につきました。

レニングラードでは、古い建築物の補修が随所で行なわれており、祖国や郷土を愛する気持の強いことには特に感心させられました。

部屋のカギを持った連れが帰らないので、ホテル前に腰を下して待っていたら、管理人のおばさんが急いでやって来てドアを開いてくれました。

さくなくロシア人にすっかり感心、日本人として見習う点の多いことを感じました。

赤の広場から百層もあるエスカレーターで地下に下りると、大理石造りの地下鉄駅があり、五カペイカ（邦価20円）で放射線状の町並のどこへでも行くことができました。

また、車が少ないのに、立体的な道路が完成しており、私達が乗った大型バスが十字路で急にUターンできるほどで、公共施設のすばらしさには目を見はるものがあります。

反面、彼らの服装は質素で町を走る車も、日本で見られるようなきれいな国というものでした。



僕のみたソ連

工 藤 実

お互いに、異国の地・異国の青年であることを忘れるほどに深められた友情は、共通して平和を求め、日ソ両国間の親善を深めるための大きなかけ橋であり、収穫であったと思います。

こうした研修に、今後もより多くの青年が参加できるように希望して、報告を終ることにします。

増す計画のあることを発表したので、できるだけ多くの青年が参加されることを望みます。

最後にこの事業を主催した県当局、並びに私達に多大のご援助を下さった村当局に厚く感謝申し上げます。

自衛官募集中

つぎにより本年度第三次自衛官（二等陸・海・空士）採用試験が実施されます。希望者は受験してください。

十月二十日および十一月二十四日、本庄市佐藤病院。十二月二十二日、本庄保健所。（対象は本庄市由利郡のみ）